

本

明治三十七八年  
戦役

感

状

0725

忠魂義  
膽

海軍大將東郷平八郎

0726

感 状

第一驅逐隊

第二驅逐隊

第三驅逐隊

明治三十七年二月九日率先機ヲ制シテ旅順  
口外ニ敵艦隊ヲ奇襲シ有力ナル敵艦數隻ヲ  
擊破シ以テ海上ニ於ケル戰勝ノ端緒ヲ開キ  
其有形無形ノ功績顯著ナリト認ム仍テ茲ニ  
感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ編制及指揮官

第一驅逐隊司令

大佐 淺井正次郎

白雲艦長

少佐 秋間光太

霞艦長

少佐 大島正毅

朝潮艦長

少佐 松永光敬

曉艦長

大尉 末次直次郎

第二驅逐隊司令

中佐 石田一郎

電艦長

少佐 篠原利七

雷艦長

大尉 三村錦三郎

龍艦長

大尉 竹村伴吾

第三驅逐隊司令

中佐 土屋光金

薄雲艦長

少佐 大山鷹之助

漣艦長

少佐 近藤常松

東雲艦長

大尉 吉田孟子

感 状

第一回閉塞船隊

明治三十七年二月二十四日率先死ヲ決シテ  
旅順港口ノ閉塞ニ赴キ完全ニ豫期ノ目的ヲ  
達セサリシモ能ク敵ノ防禦ヲ測度シテ再擧  
ノ助ケヲ成シタルノミナラス此壯圖ハ帝國  
武人ノ義烈ヲ中外ニ表明シテ其間接ノ效力  
少カラサルヲ認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與スル  
モノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ編制及指揮官

第一回閉塞船隊指揮官 中佐 有馬良橘

天津丸指揮官 中佐 有馬良橘

報國丸指揮官 少佐 廣瀬武夫

仁川丸指揮官 大尉 齋藤七五郎

武揚丸指揮官 大尉 正木義太

武州丸指揮官 中尉 島崎保三

0730

感 状

驅 逐 艦 速 鳥  
同 朝 霧

明治三十七年二月十四日天候險惡ナリシ爲  
メ友隊僚艦相失シタルニ拘ラス風雪ヲ冒シ  
テ旅順港外ニ達シ敵艦襲撃ノ任務ヲ遂行セ  
シハ其武勇顯著ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ  
授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0731

當時ノ指揮官

速	朝霧艦長
島	霧艦長
艦	少佐
長	少佐
少佐	石川壽次郎
竹内次郎	

0732

感 状

驅 逐 艦 連

明治三十七年三月十日旅順港外ニ於テ第三  
驅逐隊カ敵驅逐隊ヲ擊破シタル際敵要塞砲  
火ノ下ニ敵驅逐艦「ステレグシチ」ヲ捕獲シ  
タルハ其武勇顯著ナリト認ム仍テ茲ニ感状  
ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0733

當時ノ指揮官

連艦長少佐近藤常松

0734

感 状

水雷艇蒼鷹

同 燕

明治三十七年三月二十七日旅順第二次閉塞ノ時敵ノ砲火ニ暴露シテ能ク閉塞船隊員ノ掩護收容ニカメ此際敵ノ驅逐艦ト會戰シテ之ヲ撃破シタルハ其武勇拔群ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ指揮官

燕	蒼鷹
艇	艇
長	長
大尉	中佐
田尻	矢島
唯	純
二	吉

0736

感 状

第二回閉塞船隊

明治三十七年三月二十七日險ヲ冒シテ旅順  
口第二次ノ閉塞ヲ決行シ其目的ノ一部ヲ遂  
ケ得タルノミナラス特ニ廣瀬海軍中佐ノ指  
揮セシ福井丸ノ如キハ益々武人ノ義氣ヲ發  
揮シテ好鑑ヲ後世ニ遺シ其無形ノ效果偉大  
ナルヲ認ム仍テ茲ニ感狀ヲ授與スルモノナ  
リ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0737

當時ノ編制及指揮官

第二回閉塞船隊指揮官

千代丸指揮官	中佐	有馬良橘
福井丸指揮官	中佐	廣瀬武夫
米山丸指揮官	大尉	正木義太
彌彦丸指揮官	中尉	森初次

0738

感 状

第四驅逐隊

第五驅逐隊

水雷艇真鶴及鵠

假裝砲艦蛟龍丸

明治三十七年四月十二日夜率先險ヲ冒シテ遠隔ナル前進根據地ヨリ旅順港ニ進ミ港口ニ近ク機械水雷ヲ沈置シ翌日ノ艦隊戦闘ニ於テ敵ノ戰艦一隻ヲ轟沈シ一隻ヲ爆破シ得ルノ功ヲ成サシメタルハ其功績顯著ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ編制及指揮官

第四驅逐隊司令

中佐 長井群吉

速島艦長

少佐 竹内次郎

村雨艦長

少佐 水町元

朝霧艦長

少佐 石川壽次郎

春雨艦長

少佐 有馬律三郎

第五驅逐隊司令

中佐 眞野巖次郎

陽炎艦長

少佐 井手篤行

叢雲艦長

少佐 松岡修藏

夕霧艦長

少佐 鍵和田專太郎

不知火艦長

大尉 渡邊仁太郎

眞鶴艇長

大尉 玉岡吉郎

鷗艇長

大尉 宮本松太郎

蛟龍丸指揮官

中佐 小田喜代藏

0740

感 状

第三回閉塞船隊

明治三十七年五月三日天候險惡ナル爲メ各  
船相失シ豫定ノ閉塞計畫ヲ實施スルコト甚  
タ困難ナリシニ拘ラス勇往邁進シテ其任務  
ヲ斷行シ能ク閉塞ノ目的ヲ達成シテ爾後ノ  
作戰ヲ容易ナラシメタルノミナラス其壯烈  
ノ偉績ハ永ク帝國海軍ニ忠勇ノ好鑑ヲ遺セ  
シモノト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノ  
ナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ編制及指揮官

第三回閉塞船隊指揮官 中佐 林 三子雄(新發田丸座乗)

三河丸指揮官	大尉 匝 璉 胤次	遠江丸指揮官	少佐 本 田 親 民
江戸丸指揮官	少佐 高 柳 直 夫	小樽丸指揮官	少佐 野 村 勉
相模丸指揮官	少佐 湯 淺 竹 次 郎	愛國丸指揮官	大尉 犬 塚 太 郎
朝顔丸指揮官	少佐 向 菊 太 郎	佐倉丸指揮官	少佐 白 石 陵 江
新發田丸指揮官	大尉 速 矢 勇 之 助	小倉丸指揮官	少佐 福 田 昌 輝
釜山丸指揮官	大尉 大 角 岑 生	長門丸指揮官	少佐 田 中 鏡 郎

感 状

第 九 艇 隊 (缺<sup>燕</sup>ク)

第 十 艇 隊

第 十 六 艇 隊

水雷艇千鳥及隼

同第六十七號及七十號

明治三十七年五月三日旅順口第三次閉塞ノ時閉塞  
船隊員收容ノ爲メ風濤ヲ冒シ敵ノ砲火ニ屈セス能  
ク此困難ナル任務ヲ遂行シタルハ其勇烈顯著ナリ  
ト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ編制及指揮官

第九艇隊司令

中佐 矢島純吉

蒼鷹艇長

中佐 矢島純吉

鵠艇長

大尉 渡邊真吾

雁艇長

大尉 阪本重國

第十艇隊司令

少佐 大瀧道助

第四十號艇長

大尉 山下正武

第四十一號艇長

大尉 水野廣徳

第四十二號艇長

大尉 中堀彦吉

第四十三號艇長

少佐 大瀧道助

第十六艇隊司令

少佐 若林 欽

白鷹艇長

少佐 若林 欽

第三十九號艇長

大尉 横尾義達

第六十六號艇長

大尉 角田貫三

第七十一號艇長

大尉 大谷幸四郎



千鳥艇長

少佐 櫻井吉丸

第七十號艇長

大尉 森本幾寛

隼艇長

大尉 桑島省三

第六十七號艇長心得

中尉 平 眞雄

感 状

軍 艦 龍 田

明治三十七年五月十五日旅順港沖ニ於テ軍  
艦初瀬遭難ノ際能ク同艦乗員ノ救助收容ニ  
カメタルノミナラス敵ノ驅逐隊我厄難ニ乗  
シテ來襲セントスルヲ見率先奮進シテ之ヲ  
撃攘シタルハ其勇烈顯著ナリト認ム仍テ茲  
ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0745

當時ノ指揮官

龍田艦長  
中佐  
釜屋忠道

0746

感 状

横尾海軍少尉ノ指揮セシ

富士艦載水雷艇

明治三十七年六月以來數、旅順港外ニ機械水雷ヲ沈置シ又ハ敵情偵察ヲ強行シテ封鎖戰ヲ利セシコト少カラス特ニ七月中三回港口ニ進入シテ頗ル冒險ナル魚形水雷ノ游泳發射ヲ試ミ又九月十三日夜機械水雷沈置ノ際敵砲火ノ下ニ大破セル摩耶艦載水雷艇員ヲ救助收容シタル如キハ其勇烈拔群比類稀レナルモノト認ム仍テ茲ニ感狀ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官

東郷平八郎

0747

當時ノ指揮官

富士艦載水雷艇指揮

少尉

横

尾

敬

義

0748

感 状

堀田海軍中尉ノ指揮セシ

淺間艦載水雷艇及自働筏

明治三十七年六月以來數々旅順港外ニ機械  
水雷ヲ沈置シ又ハ強行偵察ヲ試ミ封鎖戰ヲ  
利セシコト少カラステニ八月二十日及九月  
十一日自働筏ヲ以テ港口ニ進入シ敵艦破壊  
ヲ企テシカ如キハ其勇烈拔群ナリト認ム仍  
テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0749

當時ノ指揮官

淺間艦載水雷艇及自働筏指揮

少尉

堀

田

正

路

0750

感 状

第十四艇隊(千鳥)

三笠艦載水雷艇

富士艦載水雷艇

明治三十七年七月二十四日鮮生角東灣ニ潛  
伏セル敵ノ驅逐艦數隻ヲ奇襲シ其二隻ヲ擊  
破シタルハ其智勇ノ功績顯著ナリト認ム仍  
テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0751

當時ノ編制及指揮官

第十四艇隊司令

少佐 櫻井吉丸

率艇長 大尉 桑島省三

鷓艇長 大尉 吉川安平

真鶴艇長 大尉 飯田延太郎

三笠艦載水雷艇指揮 中尉 速藤格

富士艦載水雷艇指揮 中尉 柳沼勇雄

0752

感 状

廣瀬海軍中佐ノ指揮セシ

假裝砲艦第三號

明治三十七年七月二十六日特別掃海隊トシ  
テ鮮生角東灣ニ向ヒ掃海中其僚艦タル第十  
號假裝砲艦力運轉ノ自由ヲ失ヒタルトキ敵  
ノ要塞砲艦及驅逐艦等ヨリノ猛烈ナル射撃  
ヲ冒シテ遂ニ之ヲ曳航救助セシハ其勇烈顯  
著ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノ  
ナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0753

當時ノ指揮官

假裝砲艦第三號指揮官

中佐

廣瀬順太郎

0754

感 状

驅 逐 艦 曙

同 同 艦

同 電

明治三十七年八月五日旅順港外ニ哨戒中突  
然出テ來リタル敵ノ驅逐艦十四隻ヲ迎撃シ  
終ニ之ヲ壓迫撃攘シテ其企圖ヲ達セシメサ  
リシハ其武勇顯著ナリト認ム仍テ茲ニ感状  
ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0755

當時ノ指揮官

電	龍	曙
艦	艦	艦
長	長	長
少	少	少
佐	佐	佐
管	竹	九
哲	村	津
一	伴	見
郎	吾	雅
		雄

0756

感 状

海鼠山望樓員

明治三十七年八月中旬以來攻圍軍ト共ニ前  
進シ常ニ敵ノ砲銃火ニ暴露シテ熱心ニ旅順  
港内ノ敵情ヲ監視シ其迅速確實ナル通信ハ  
旅順ノ封鎖戰ニ少カラサル與力アリシヲ認  
ム仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0757

當時ノ指揮官

海鼠山望樓指揮官

少尉

中川

文一

一

0758

感 状

第一驅逐隊(朝潮)

明治三十七年十月十一日旅順港外ニ於テ敵  
情偵察中港内ヨリ突撃シ來リタル敵ノ驅逐  
艦九隻ト合戦シ遂ニ之ヲ撃退シ得タルハ其  
武勇顯著ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與ス  
ルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0759

當時ノ編制及指揮官

第一驅逐隊司令 中佐 藤本秀四郎

白雲艦長 少佐 狭間光太  
霞艦長 少佐 白石直介

0760

感 状

大連灣防備隊海防水雷艇隊

明治三十七年十二月十二日旅順港外ニ敵艦  
「セバストポール」ヲ攻撃シ猛烈ナル敵ノ探照砲  
火ヲ冒シテ適良ナル距離ニ薄リ充分有效十  
ルヘキ數回ノ發射ヲ遂ケタルハ其武勇拔群  
ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナ  
リ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0761

當時ノ指揮官

大連灣防備隊海防水雷艇隊指揮官 少佐 正戸爲太郎

0762

感 状

三笠艦載水雷艇

扶桑艦載水雷艇

明治三十七年十二月十三日他ノ水雷艇隊ト  
共ニ旅順港外ニ敵艦ヲ襲撃シ戦艦「セバスト  
ポール」ニ近接シテ充分有效ナルヘキ發射ヲ  
遂ケタルハ其武勇拔群ナリト認ム仍テ茲ニ  
感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0763

當時ノ指揮官

三笠艦載水雷艇指揮	中尉
扶桑艦載水雷艇指揮	大尉
	足立六藏
	長野璞郎

0764

感 状

水雷艇第四十號

明治三十七年十二月十四日旅順港外ニ殘存  
セル敵艦ニ對スル水雷艇襲撃ノ際敵彈雨飛  
ノ下ニ損破セル僚艇ノ救助ニカメ其沈没セ  
ントスルニ及ンテ生存者ヲ收容シ得タルハ  
其勇烈拔群ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與  
スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0765

當時ノ指揮官

第四十號艇長 大尉 中原 彌平

0766

感 状

水雷艇第五十二號

同 第五十八號

明治三十七年十二月十四日降雪ヲ冒シテ旅  
順港外ノ敵艦ヲ襲撃シ敵艦ト陸岸ノ間ニ進  
入シテ數回ノ果敢ナル發射ヲ遂ケタルハ其  
武勇拔群ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ授與ス  
ルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0767

當時ノ指揮官

第五十二號艇長	大尉	官本松太郎
第五十八號艇長	大尉	中牟田武正

0768

感 状

第十四艇隊

明治三十七年十二月十五日降雪ヲ利シテ旅  
順港外ニ敵艦ヲ襲撃シ深ク敵ノ泊地ニ進入  
シテ數回ノ果敢ナル發射ヲ遂ケタルノミナ  
ラス敵ノ驅逐艦ト合戦シテ其一隻ヲ擊破シ  
タルハ其武勇拔群ナリト認ム仍テ茲ニ感状  
ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0769

當時ノ編制及指揮官

第十四艇隊司令

少佐

關

重

孝

隼 艇長

大尉

海老原啓一

一

真鶴 艇長

大尉

飯田延太郎

郎

鶴 艇長

大尉

吉川安平

平

千鳥 艇長

少佐

關

重

孝

0770

感 状

水雷艇第四十四號

明治三十七年十二月十五日旅順港外ノ敵艦  
ヲ攻撃スルノ命ヲ受ケ修理工事ノ爲メ其出  
發ニ後レタルモ單獨奮進シテ敵艦「セバスト  
ポール」ニ肉薄シ頗ル果敢ナル發射ヲ遂ケタ  
ルハ其勇烈顯著ナリト認ム仍テ茲ニ感状ヲ  
授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0771

當時ノ指揮官

第四十四號艇長  
大尉  
横地  
錠二

0772

感 状

第 二 艇 隊

明治三十七年十二月十五日降雪ヲ冒シテ旅  
順口外ニ敵艦ヲ襲撃シ深ク敵ノ泊地ニ進入  
シテ數回ノ果敢ナル發射ヲ遂ケタルノミナ  
ラス敵ノ驅逐艦ト砲戰シテ之レニ多少ノ損  
害ヲ與ヘタルハ其武勇拔群ナリト認ム仍テ  
茲ニ感狀ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年一月十二日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0773

當時ノ編制及指揮官

第二艇隊司令

少佐

神宮司 純清

第三十七號 艇長

大尉

武富 成一

第四十五號 艇長

少佐

神宮司 純清

第四十六號 艇長

大尉

玉岡 吉郎

第四十九號 艇長

大尉

成瀬 美雄

0774

感 状

假裝巡洋艦信濃丸

明治三十八年五月中敵艦隊ノ北上ニ對シ連  
日連夜ノ哨戒勤務ニ服シ同月二十七日拂曉  
早クモ敵艦隊ヲ發見シ其確實迅速ナル警報  
ハ聯合艦隊ノ作戰ヲ利セシコト少ナカラス  
其功績大ナリトス仍テ茲ニ感状ヲ授與スル  
モノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0775

當時ノ指揮官

信濃丸  
艦長  
大佐  
成  
川  
揆

0776

感 状

軍 艦 和 泉

明治三十八年五月二十七日午前早夕敵艦隊  
ト觸接シ爾後敵ノ砲火等ニ屈セス敵ヲ監視  
シテ我陸軍運送船等ヲ掩護シタルノミナラ  
ス詳カニ時々ノ敵情ヲ觀察報告シ聯合艦隊  
ノ作戰ヲ利セシコト少ナカラス其功績大ナ  
リトス仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0777

當時ノ指揮官

和泉 艦長 大佐 石田 一郎

0778

感 状

軍 艦 千 早

明治三十八年五月二十七日ノ海戰中機ヲ見  
テ屢敵艦隊ニ近接シ水雷發射ヲ試ミ且ツ大  
破セル敵ノ旗艦「クニヤーシスワロフ」ニ對シ  
附近敵艦ノ猛射ヲ冒シテ突進シ勇敢ナル水  
雷攻撃ヲ遂ケタルハ其武勇顯著ナリトス仍  
テ茲ニ感狀ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0779

當時ノ指揮官

千早 艦長  
中佐  
江口 鱗  
六

0780

感 状

第五驅逐隊

明治三十八年五月二十七日海戰中大破セル敵ノ旗艦クニヤーシスワロフニ對シ附近敵艦ノ猛射ヲ冒シテ突進シ勇敢ナル白晝攻撃ヲ遂ケ且ツ日没後ヨリ諸驅逐隊艇隊ト共ニ猛烈果敢ナル夜襲ヲ續行シ翌二十八日ニ至リ不知火ハ敵艦アドミラルナヒモフヲ捕獲シ更ニ蔚山沖ニ於テ第六十三號艇ト共ニ敵驅逐艦グロームキーヲ擊沈シ又叢雲ハ竹邊灣附近ニ於テ新高ト共ニ敵驅逐艦フイストルイヲ擊滅ス其功績多大ニシテ武勇顯著ナリトス仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ編制及指揮官

第五驅逐隊司令

中佐

廣瀬順太郎

不知火艦長

少佐

桑島省三

兼雲艦長

少佐

島内桓太

夕霧艦長

少佐

田代巳代次

陽炎艦長

大尉

吉川安平

0782

感 状

第 四 驅 逐 隊

明治三十八年五月二十七日ノ海戰中大破セ  
ル敵ノ旗艦「クニヤ」ジ、スワロフニ對シ附近  
敵艦ノ猛射ヲ冒シテ勇敢ナル白晝攻撃ヲ遂  
ケ且ツ二十八日午前敵艦「ナバリ」ヲ奇襲シ  
テ之ヲ轟沈ス其功績大ニシテ武勇顯著ナリ  
トス仍テ茲ニ感狀ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ編制及指揮官

第四驅逐隊司令

中佐

鈴木貫太郎

朝霧艦長

少佐

土師勘四郎

朝潮艦長

少佐

南里團一

村雨艦長

少佐

小林研藏

白雲艦長

少佐

鎌田政敏

0784

感 状

第十一艇隊

明治三十八年五月二十七日夕刻大破セル敵  
ノ旗艦「グニヤー」ジ、スワロフヲ襲撃シテ之ヲ  
轟沈ス其功績少ナカラス仍テ茲ニ感状ヲ授  
與スルモノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0785

當時ノ編制及指揮官

第十一艇隊司令 少佐 富士本梅次郎

第七十二號艇長 大尉 笹尾源之丞

第七十三號艇長 少佐 富士本梅次郎

第七十四號艇長 大尉 太田原 達

第七十五號艇長 大尉 河合 退藏

0786

感 状

第 一 艇 隊

第 十 七 艇 隊

第 十 八 艇 隊

明治三十八年五月二十七日夜各驅逐隊等ト共ニ風  
濤ヲ冒シテ敵艦隊ニ肉薄シ多大ノ死傷ヲ顧ミス猛  
烈ナル襲撃ヲ遂ケシノミナラス敵艦隊ヲ四分五裂  
ノ情態ニ陥ラシメ間接ニ翌二十八日ノ追撃戰ヲ利  
セシコト少シトセス其功績大ニシテ武勇顯著ナリ  
トス仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0787

當時ノ編制及指揮官

第一艇隊

司令少佐 福田昌輝

艇第六十七號 長 大尉 中牟田武正

艇第六十八號 長 大尉 寺岡平吾

艇第六十九號 長 少佐 福田昌輝

艇第七十號 長 大尉 南郷次郎

第十七艇隊

司令少佐 青山芳得

艇第三十一號 長 大尉 山口宗太郎

艇第三十二號 長 大尉 人見三郎

艇第三十三號 長 大尉 河北一男

艇第三十四號 長 少佐 青山芳得

第十八艇隊

司令少佐 河田勝治

艇第三十六號 長 少佐 河田勝治

艇第六十號 長 大尉 岸科政雄

艇第六十一號 長 大尉 宮村曆造

艇第三十五號 長 大尉 副島村八

感 状

第 九 艇 隊  
第 十 艇 隊

明治三十八年五月二十七日夜風濤ヲ冒シテ  
敵艦隊ニ迫リ有效ナルヘキ襲撃ヲ遂ケタル  
ノミナラス敵艦隊ヲシテ潰亂分裂セシメ間  
接ニ翌二十八日ノ追撃戦ヲ利セリ其功績少  
ナカラス仍テ茲ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

當時ノ編制及指揮官

第九艇隊

司令 中佐 河瀬 早治

蒼鷹艇長 中佐 河瀬 早治

雁艇長 大尉 粟屋 雅三

燕艇長 大尉 田尻 唯二

鵠艇長 大尉 井口 第二郎

第十艇隊

司令 少佐 大瀧 道助

第四十號艇長 大尉 中原 彌平

第四十一號艇長 大尉 水野 廣徳

第四十三號艇長 少佐 大瀧 道助

第三十九號艇長 大尉 大金 實

0790

感 状

驅 逐 艦 連

同 陽 炎

明治三十八年五月二十八日鬱陵島ノ南方ニ  
於テ敵ノ驅逐艦二隻ト戦ヒ其一隻ヲ捕獲シ  
敵ノ主將ヲ擒ニス其功績大ナリトス仍テ茲  
ニ感状ヲ授與スルモノナリ

明治三十八年六月二十日

聯合艦隊司令長官 東郷平八郎

0791

當時ノ指揮官

陽炎艦長	連艦長
大尉	少佐
吉川安平	相羽恒三

0792

明治四十年二月印刷

海軍教育本部

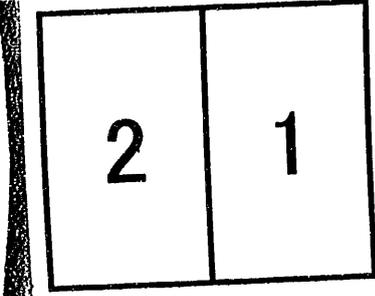
0793

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

# 分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 版 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	



お成程と云ふ

船後兼仁川

彼我討戦  
状況

書面

馬通

官店陛下

之と依と云ふ

之思及云々

様

召此水

清

二日十日

三

0795 0794

彼我對戰 狀況

書面 差之 与 不

与 通

官 后 僅 下 之 定 院

之 与 依 之 亦 与 皆 爲 是

与 思 之 亦 有 其 及 于 亦

權 以 所 出 亦 亦 亦 亦

与 然 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦

二 日 十 日 三

得 亦 亦 亦 亦 亦

聯合艦隊ハ陸兵韓國

上陸ノ任務ヲ完クシテ

其西岸ヲ掃ト敵艦ヲ

殲順ニ撃チテ其数隻ヲ

破リ氣勢大トニ振フト

聞ク

朕太ク之ヲ嘉ニス將士

益々奮勵セヨ

0796

二月三日

我聯合艦隊、仁川及旅

順、於テ大ヒニ敵艦ヲ擊破

シタル趣

皇后陛下ノ懿聞ニ達シ

深ク感賞アラセラル

年月日

大夫

海軍大臣

第二軍ハ海軍支隊ト協力シ敵ノ死守  
シタル金州城及其南方要害ノ地ヲ力  
攻シ遂ニ之ヲ陥レ次テ旅順港ノ咽喉ヲ  
扼シ且ツ我野戦軍将来行動ノ地歩ヲ堅  
固ナラシム  
朕深シク爾等ノ忠勇ヲ嘉シシ南ホ益々奮  
勵シテ終局ノ勝利ヲ收メムコトヲ望ム



我第二軍ハ海軍支隊ト協力シ金州城ヲ  
陥レ奮闘猛進遂ニ其南方險要ノ地ヲ  
畧取シタル趣

皇后陛下ノ懇降ニ達シ我將校下士卒ノ  
忠勇ナルヲ深ク御感賞アラセラル

明治三十七年五月廿九日

皇后宮大夫子爵香川毅三

第二軍司令官

陸軍大将男爵奥保鞏毅

0800

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ナ  
本  
管

0801



東宮  
第六〇五號

別命

皇太子殿下ヨリ、令旨東御縣合  
艦隊司令長官へ御傳達在成度  
申進致也

明治三十七年八月十三日

東宮大夫 齋藤桃太郎

海軍、令部長子壽伊東祐亨殿

東  
宮  
裁

0802





度第六一〇號

別紙

皇太子殿下ヨリ第二艦隊へノ令旨

可然御傳達相成度此段申進

候也

明治三十七年八月十六日

東宮大夫齋藤桃太郎

海軍軍令部長子爵伊東祐亨殿

東宮職

0804

勅語

我海軍ハ籌畫攻戰共ニ宜  
シキヲ得中外相待テ敵ノ  
艦隊ヲ殲滅シ以テ朕カ望  
ニ副ヘリ

朕深ク其偉功ヲ嘉尚ス汝  
等益ス努力シテ大成ヲ期

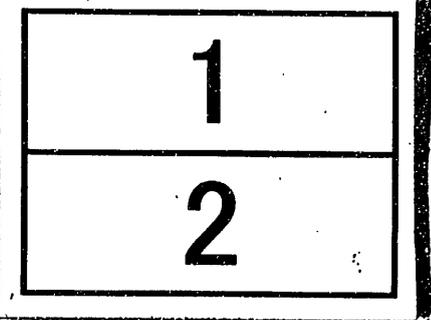
セヨ

0806

吊 祭 祝  
詞 文 詞  
等

0807

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

## 弔詞

海陸ノ戦雲已ニ散シテ端都ノ和氣諳々童幼歡ヒ迎ヘ  
ニ六親門ニ待ツ是レ諸子ト生死ヲ與ヒニタル將卒十カ  
大毒蘇ノ下ニ凱旋セル頃日ノ光景ナリ回想スレハ諸子等  
カ泣寒ヲ冒シ炎熱ヲ凌キ屢々勁敵ト闘フニ當リテヤ  
戦局ノ前途ハ尙未タ知ルニ由ナク諸子ノ逝ク毎ニ先ツ其忠  
死ノ榮ヲ得タルヲ羨ミ我等モ亦ス諸子ニ倣フテ君國ニ  
報フルヲ期セリ然ルニ諸子等ノ勇戦奮闘ハ常ニ其功果ヲ奏シ  
皇軍戦フ毎ニ勝タサルコトナク旅順ノ連攻十閱月ニシテ大勢  
ヲ定メ日本海ノ鏖戦一擧ニ勝敗ヲ決シ爾後海上又敵影  
ヲ見サルニ至レリ是レ固ヨリ無量ノ 皇徳ニ基クト雖モ亦  
者子等トシテ人トシテ長クハ...

ヲ見サルニ至レリ是レ固ヨリ無量ノ 皇徳ニ基クト雖モ亦  
諸子等身ヲ外ニ忘レテ奉公ニタルノ致ス所ナラスニハ非ス  
今ヤ征戰其終リテ告ケ我等凱旋ノ將卒四顧歡喜ノ光景  
ヲ見ルニ當リ諸子ト此ノ悦ヒヲ分ツ能ハサルコトヲ懷ヒ悲喜交  
至リテ感慨言フ可ラサルモノアルヲ覺フ然レトモ今日アルモノハ  
即チ諸子カ一死ノ榮アル所以ニシテ諸子ノ忠烈ハ永ク  
我海軍ノ精神トナリ以テ帝國ヲ無窮ニ守護セシ茲ニ  
典ヲ舉グテ諸子ノ靈ヲ祭リ聊カ懷ヲ述ヘテ吊詞ニ代フ  
尚クハ未リ饗食トヨ

明治三十八年十月二十九日

聯合艦隊司令長官東鄉平八郎

# 祭文

維時明治三十七年五月二十九日

軍艦初瀬介隊長海軍少佐從四位

勲四等功四級子爵仁禮景一君及

同乘戰没者諸君ノ靈ニ告ク曰襄

帝國力露國ニ對シ外交上ノ折衝ヲ

断テ事ヲ兵力ニ訴フルノ止ヲ得サ  
ルニ至ルヤ諸士ハ命ヲ奉シテ奮然  
征途ニ上レリ而シテ日夜精ヲ勵シ  
其ノ職ニ従ヒ擲風沐雨祁寒ヲ冒シ  
狂濤ヲ凌キ敵ノ艦隊未嘗戦シマシ  
ヲ撃退シ其ノ要塞砲火ヲ加ヘテ

0811

未<sup>レ</sup>威嚇シ或ハ敵情ヲ偵察シテ  
作戰ニ資<sup>ス</sup>或ハ間接射撃ニ由<sup>テ</sup>  
我閉塞隊ノ作業ヲ掩護スル等洵  
ニ偉大ノ成績ヲ顯ハサレタリシカ去<sup>ル</sup>  
十五日旅順港<sup>外</sup>ニ於ケル作戰行動  
中初瀬力敵ノ水雷ト觸<sup>ル</sup>所ト爲

リテ没スルヤ諸士ハ前途有為ノ材  
ヲ懷キテ艦ト共ニ其ノ命運ヲ同フ  
セリ何リ痛悼<sup>キ</sup>堪ヘン然レトモ願ヒ  
ルニ諸士カ列キ少キ其ノ行動ヲ共ニ  
セル我軍ハ今ヤ全リ敵勢ヲ窘壓シテ  
制海權ヲ握有シ以テ大ニ國威ヲ發

0813

揚スルニ至レリ諸士亦瞑スヘキナリ予

ヤ這般ノ戦役ニ於テ諸士ト南戦隊

在リ親炙最モ深ク特モ情誼ヲ同シ

密ニモアリ本ノ逸軍境ノ異ノ追慕能ハス

熱誠ヲ捧ケテ以テ恭ヒシヲ諸士ノ英魂

ヲ祭ル尚クハ育子ケヨ

第一艦隊司令官海軍少將正五位勲三等功四級梨乃時起

0815

祭文

維時明治三十七年五月二十九日吉野

艦長海軍大佐從五位勳三等功四級

佐伯閣君及同乘戰没者諸君ノ靈

二 告 曩キニ帝國カ露國ニ對シ外交上

ノ折衝ヲ断テ事ヲ兵力ニ訴フルノ止ラ得

サルニ至ルヤ諸士ハ命ヲ奉シテ奮然征途

職官佐記  
功子氏名  
ヲ連記ス

ニ上レリ而シテ日夜精ヲ勵シ其ノ職ニ從ヒ  
櫛風沐雨祁寒ヲ冒シ狂濤ヲ凌キ敵ノ  
艦隊ニ會戦シテ之ヲ擊手退シ其ノ要塞ニ  
砲火ヲ加ヘテ之ヲ威嚇シ敵情ヲ偵察シテ  
作戰ニ資シ或ハ敵ノ砲火ヲ冒シテ我閉塞隊  
ノ作業ヲ掩護スル等洵ニ偉大ノ成績ヲ

0817

顯ハカレタリシカ去ル十五日旅順<sup>港</sup>沖ニ於ケル  
作戦行動中吉野ノ變災ニ逢遭シテ没  
スルヤ前途有為ノ材ヲ懷キテ艦ト共ニ  
其ノ命運ヲ同フセリ何ヲ痛悼ニ堪ヘシ  
然レトモ顧ミルニ諸士カ列シテ以テ其ノ行  
動ヲ共ニセル我軍ハ今ヤ全ク敵勢ヲ窘  
壓シテ制海權ヲ握有シ以テ大ニ國威ヲ

發揚スルニ至レリ諸士亦瞑スヘキナリ予ヤ  
 這般ノ戦役ニ於テ諸士ト同戦隊ニ職ヲ  
 奉<sub>ニ</sub>親炙最モ深ク特ニ情誼ノ密ナ  
追慕ノ念  
 ルモノアリテ禁スルコト能ハス茲ニ熱誠ヲ  
 捧ケテ恭シク諸士ノ英魂ヲ祭ル尚クハ  
 真子ケヨ

明治三十九年三月十九日

第一艦隊司令官海軍少將正五位勳三等功位出羽重遠

0820

0821